

# 令和2年度 上野学園大学 遠隔授業アンケート 報告書

## 1. はじめに

本学では、コロナ禍での授業・レッスンを成立させるため、令和2年4月にオンライン環境の整備に取り組んだ。通信を介した双方向での授業・レッスンは多くの教員にとって、手探り状態で臨んだに等しい。そこで遠隔授業における達成度や満足度を測るべく、全学生を対象にアンケートを行った。学生の指摘・要望を分類し、コロナ収束後も授業の一形態として機能させていきたい。

## 2. 基本項目

日時 令和2年12月9日(水)19:10 メール配信(さくら連絡網アンケート機能)  
令和2年12月11日(金)18:00 回答締切  
対象 大学学生 全員  
対象人数 195名(休退学者5名を除く)  
回収数 117名(回収率60%)  
方法 記名式アンケート

## 3. アンケート集計結果

### 【I】遠隔授業に満足していますか。

	人数	比率
1: そう思う・当てはまる	20	17%
2: ややそう思う・やや当てはまる	46	39%
3: あまり思わない・あまり当てはまらない	32	27%
4: 思わない・当てはまらない	11	10%
未回答	8	7%

### 〔自由記述〕

	件数
音楽の授業に遠隔は適さない	4
この状況では遠隔でも仕方ない	2
色々な工夫が施されていて質が高い	1
その他	1

### 【II】遠隔授業で困っていることは何ですか。(複数回答)

	人数	比率
1: 教員・学生同士のコミュニケーション不足	57	21%
2: 授業によってばらつきを感じる	41	15%
3: 目や体の負担がある	65	23%
4: 課題が多くなってしまふ	75	27%
5: 授業が理解しにくい	40	14%

〔自由記述〕

	件数
通信が不安定・タイムラグ・音質	8
ハイブリッド(対面/遠隔)での格差	3
試験や課題の実施方法	2
心身への負担・モチベーション	3
受講する環境	1
教員の操作スキル	1
充実している	1
その他	1

【Ⅲ】遠隔授業で良かったことはありますか。

	人数	比率
1: はい	77	66%
2: いいえ	40	34%

〔自由記述〕

	件数
時間の有効活用	19
家にいられる・感染予防・ストレスフリー	11
授業が工夫されている	5
わからない	1
良いことはない	1

## 5. まとめ

【Ⅰ】授業の満足度は、予想より高い。

【Ⅱ】課題が多くなっている、心身に負担がかかっているという傾向が読み取れる。

【Ⅲ】在宅で授業を受けられる利点を挙げる学生が多い。

令和3年1月15日

FD委員会